

未来につなぐ、私たちのストーリー



クレーン車賃貸・各種重量物据付・鉄板リース

埼玉ブロック運輸株式会社



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

2026年10月2日

「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約締結について

朝日信用金庫(本部 東京・千代田区／理事長 伊藤康博、以下「当金庫」)は、持続可能な地域社会の実現と、お客さまの脱炭素経営への取り組みに貢献するため、2026年10月2日(金)に以下の事業者さまと「サステナビリティ・リンク・ローン(以下「SLL」)」の契約を締結したことを、お知らせいたします。

当金庫では今後も、持続可能な地域社会の実現に金融面から貢献するため、さまざまな金融サービスを通じて、お客さまのニーズにお応えできるように努めてまいります。

【企業概要】

事業者名	埼玉ブロック運輸株式会社
代表者名	漆原 久雄
本店所在地	東京都台東区花川戸2丁目7-4
事業内容	建設機械器具賃貸業
設立	1961年1月
会社HP	https://www.saitamablockunyu.co.jp

【契約概要】

契約日	2026年10月2日(金)
取扱店	浅草支店：東京都台東区浅草4-49-12
KPI	当社におけるCO ₂ 排出量の削減率(Scope1 + Scope2)
SPT	CO ₂ 排出量の削減
フレームワーク	朝日信用金庫サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク (株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得)

SLLとは、事前に定めた重要な評価指標(KPI)に対して、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPT)を設定し、SPTの達成状況に応じて金利が変動する融資商品です。朝日信用金庫のSLLは、お客さまとともに「脱炭素(カーボンニュートラル)」を目指していくため、KPIを「CO₂排出量の削減率」、SPTを「CO₂排出量の削減」として設定し、その達成状況に応じて金利が変動する仕組みとしています。

なお、朝日信用金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ関連の原則等に整合しているとの評価を得ています。

事業者の「想い」

「誠意・実行・完遂」

私たちは1961年の設立以来、
大型作業用クレーンのリース業として、
日本の建設・建築業界の工事現場において
「緑の下での力持ち」の役割を果たすべく、
誠意をもって、愚直に事業に取り組んできました。

今、地球温暖化の進行によって、
建設・建築に携わる方々の健康が脅かされています。

そのような状況を少しでも改善するため、
私たちは新たに、
脱炭素への取り組みを進めてまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



【事業者さま(以下「当社」)について】

＜当社の概要＞

当社は、1947年に埼玉・羽生にてコンクリートブロック製品の製造業として創業。

一度目の東京オリンピックの開催を控え、東京の其処彼処にビルが立ち並び始めるのを目の当たりにしたことから、1961年に現法人を設立し、ビルの建築に必要不可欠となるクレーン等のリース事業を開始しました。また、1962年には現在の本社地である東京・浅草花川戸に事務所を設け、高度成長期の東京の発展を建設・建築業の「縁の下の力持ち」として支え続けてきました。

最初は8トンの自動クレーン車から事業を開始しましたが、現在は埼玉県羽生市、江東区新木場、江東区辰巳の3つのモータープールに、

- ✓オールテレーンクレーン（不整地走行も可能な大型クレーン）
- ✓ラフタークレーン（機動性に優れ、狭隘地でも作業可能）
- ✓クレーン付きトラック（クレーンで重量物を積み込み、そのまま運搬可能）
- ✓トラクター・トレーラー

といった工事現場に欠かせない40台の車輛を取り揃え、お取引先のニーズに合わせて提供しています。

＜当社の企業理念＞

当社は、以下の企業理念を掲げています。

企業理念**誠実・実行・完遂**

高度成長期の東京は、公共投資の拡大による「大規模インフラ整備」、大都市圏を中心とした「都市化」、超高層ビルの誕生といった「高層化の幕開け」などが重なり、各地の工事現場は非常な活況を呈していました。創業期にはクレーンのリースを取り扱う企業は5社程度のみであったため、同業他社と工事現場(仕事)を「取り合う」のではなく、仲間同士で連絡を取り合い、「少しでも多くの工事現場にクレーンを届ける」ことに力を尽くしていたそうです。その後、当社で修業をした人たちは独立して日本全国の建設・建築に携わり、当社とともに日本の高度成長期の発展を支え続けてきました。

また、当時から単にクレーンをリースするだけではなく、クレーンを操作する職人も派遣していました。当社は「就業規則やコンプライアンスの遵守」と「安全・確実な作業」を重視しており、新人の職人が工事現場の作業を一人で完遂できるようになるまでベテランの職人が技術指導を行う「徒弟制度」のような人材育成の伝統を守り続けています。こうした人材育成制度は、親子二代にわたって当社に勤務する職人などに代表される「当社の伝統を理解し、お取引先に誠実に向き合って、工事現場の作業を完遂できる職人」の輩出だけではなく、当社の最大の特徴である「日本全国・24時間・365日の対応」を可能とする体制の構築にもつながっています。



【当社のサステナビリティ方針について】

当社は、単にクレーン等をリースするだけではなく、お取引先の工事現場に職人として参画するなど、建設・建築に深く関わる事業者であることから、建設・建築従事者の健康を守るために、地球温暖化の抑制にも貢献すべきではないか、という問題意識を持っていました。したがって、新たに「脱炭素」という目標を掲げることで、「建設・建築に関連する事業者として、地球温暖化の抑制、ひいては持続可能な地域社会の実現に貢献することは、『誠実・実行・完遂』という当社の企業理念にも通ずるものであり、そのことを明確にしていきたい」と考えています。

<気候変動に対する考え方、対策および方針>

当社は、気候変動が引き起こす自然災害が、自社の事業活動に大きな影響を与える可能性がある重大な課題であるとの認識に基づき、以下の取り組みを進めてまいります。

- ✓CO₂排出量の削減
- ✓エネルギー消費量の削減
- ✓再生可能エネルギーの活用を検討
- ✓環境に関する法令等を遵守

<取り組み目標>

当社は、以下の目標を掲げています。

- ✓長期目標として、2050年度までに「カーボンニュートラル」を達成
- ✓短期目標として、ローン期間中2.8%/年相当のCO₂排出量の削減

【当金庫の評価】

建設・建築業界全体がサステナビリティ経営への取り組みを強化する中、当社も脱炭素を自社の課題として捉え、SLLにおけるSPTのほか、自社のサステナビリティ方針において、地球温暖化に対する高い問題意識と、CO₂排出量削減に向けた対策及び取り組み方針が示されています。また、具体的な取り組み目標を掲げており、今後は適時、適切に对外開示されます。

当金庫は、当社の環境課題解決へのお取り組みに敬意を表し、またそのお取り組みに貢献するために、SLLの融資契約を締結いたしました。

今後も当社のお取り組みに貢献できるよう、努めてまいります。

以 上

《 本リリースに関するお問合せ：朝日信用金庫 融資業務部 高木 TEL 03-3862-7929 》